



＜来館時のメッセージ＞  
男の人が私にリンゴをくれました。そのリンゴは、これまで食べた中で一番おいしいリンゴでした。私はこの街の人々の優しさをいつも覚えています。



＜来館時のメッセージ＞  
杉原千畝氏の行いで、私と何千人ものユダヤ難民が救われたことに感謝いたします。あなたの方の親切な歓迎を決して忘れることはないでしょう。



＜来館時のメッセージ＞  
ポーランドの子どもたちに与えていただいた全ての助力に感謝いたします。心からありがたく思っています。



# 人道の港 敦賀の軌跡

心温まるエピソードを伝えて12年

## 2つの史実

かつて敦賀港に上陸したポーランド孤児とユダヤ難民の歴史をご紹介します。

### ■ポーランド孤児

ポーランド孤児とは、ロシア革命後の内戦状態であったシベリアで家族を失い、過酷な状況にあったポーランドの子どもたちのことです。孤児を救うために、日本赤十字社は1920～22年にかけて孤児の受け入れを行い、合計763人のポーランド孤児が敦賀港に上陸しました。当時の敦賀の人々は、菓子・玩具・絵葉書等の差し入れや宿泊・休憩所の提供など、温かく迎え入れました。

### ■ユダヤ難民

1940～41年、ユダヤ難民たちはナチス・ドイツの迫害等

料館としてオープンしました。それから12年、開館以降、約33万人の方々に「来館いただき、「命」と「平和」について考えるきっかけの場として多くの方に親しまれてきました。そして、ポーランド孤児のご家族、「命のビザ」で助かったユダヤ難民やそのご家族、関連する地域・国の方にもお越しいただき、貴重な資料や心温まるメッセージ(頁上段の各写真参照)をいただくなど、敦賀市はムゼウムを中心に幅広い交流を行ってきました。

### リニューアルするムゼウム

「人道の港 敦賀」のさらなる

### 新しいムゼウムの内覧会を開催します！

新しいムゼウムの市民を対象とした内覧会の開催を9月下旬から10月にかけて予定しています。開催日や申込方法などは次号の広報つるがやホームページでお知らせします。

### 現在のムゼウムは8月31日(月)で閉館します

現在の金ヶ崎緑地内にあるムゼウムは8月31日(月)をもって閉館いたします。現在の建物は、9月以降に展示資料の移設・撤去や改修工事を経て、無料休憩所として開所する予定です。(改修期間中も館内トイレはご利用いただけます)

から逃れるため、リトアニアのカウナス領事代理である杉原千畝氏が発給した「命のビザ」を携えて、リトアニアからウラジオストクを経て、敦賀港に上陸しました。苦難の旅路を経て敦賀に降り立った彼らは、敦賀の街が「天国(ヘブレン)に見えた」と語っています。上陸した彼らと当時の市民の間には、「少年が難民にリンゴなどの果物を無償で配った」「難民に銭湯を無料で開放した」など、心温まるエピソードが残されています。

### ムゼウムが結ぶ交流

2008年3月、人道の港 敦賀ムゼウム(ムゼウム)はポーランド語で「資料館」の意味)は、ポーランド孤児とユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港である敦賀港の歴史と、当時の敦賀の人々が彼らを温かく迎え入れたエピソードを伝える資

発信のため、ムゼウムは11月3日にリニューアルオープンします。新たな施設は、大正から昭和初期の敦賀港にあった建物4棟を当時の位置(金ヶ崎緑地付近)に復元しています。館内は、アニメーションを用いた展示や大型スクリーンを備えたシアタールームを設けるなど、展示内容と団体利用時の受け入れ体制を充実させています。ポーランド孤児上陸100周年、「命のビザ」発給80周年の記念すべき年にリニューアルを迎えるムゼウム。新たに生まれ変わるムゼウムにご期待ください。

ポーランド孤児とユダヤ難民を温かく迎え入れた史実を国内外に伝える資料館「人道の港 敦賀ムゼウム」。11月3日にリニューアルオープンを迎える今、これまでのムゼウムのあゆみを振り返ります。

### ムゼウムの主な交流と出来事

年月	出来事
2008年3月(平成20年) 7月	人道の港 敦賀ムゼウム開館
2009年8月(平成21年)	杉原千畝記念館のある岐阜県八百津町と相互協定締結
2014年7月(平成26年)	杉原千畝領事代理が発給した「命のビザ」を携えて敦賀港に上陸したユダヤ難民(以下「杉原サイババー」といふ)の長男、チャールズ・マンスキー氏が来館
2015年9月(平成27年)	杉原サイババーの長男、ルーベン・スガニコヘン氏が来館
2015年9月(平成27年)	ポーランド孤児の長女、アンナ・ドマラツカ氏が来館(頁上段写真参照)
10月	敦賀港に上陸したユダヤ難民などの写真を納めたアルバム「大迫アルバム」が市に寄贈される



▲ユダヤ難民が乗船した船に添乗した大迫辰雄氏が難民から渡された写真を大切に保存したアルバム「大迫アルバム」



▲市に寄贈されたポーランド孤児がつづった日記や写真など

移転のため現・ムゼウムを一時閉館  
大正から昭和初期に実在した建物を再現した施設にて、人道の港 敦賀ムゼウム・リニューアルオープン！

年表記載の出来事のほか、ポーランド孤児・ユダヤ難民のご子孫や関係者、各国大使館・領事館関係者など多くの方にご来館いただいています。